

人と人を織り交ぜる未来

いろいろりの湯

桐生
みどり



【効能】

人と人とのつながりが生まれ、地域の結束力が深まり、身体の芯からポカポカ温まり、元気が出てきます。

【特徴】

囲炉裏のように、周囲が薄暗く、お湯の真ん中が温かくなっています。自然と真ん中を囲むように人が集まります。

【入浴方法】

気負わず、まずは隣の人に挨拶をし、何気ないところから話してみましよう。話をするだけでなく、耳を傾けることも大切です。

※ひとりでも入っても、すぐに囲まれ、あれやこれやと話が盛り上がります。ひとりで静かに入りたい人には不向きです。

【対象】

自分の想いや情報を共有することが苦手だと感じている人におすすめです。

【成分】

このお湯の成分となる「未来の種」の一覧です。タイトルの下の括弧に、提案自治体名と関連テーマを記載しています。

『地域の未来を共有するワークショップ』（みどり市／移住定住）
月二回ほど、集会所や公民館などで地域住民・関係者が地域課題をヒアリングし、地域内でワークショップをする。地域の人と未来のカレンダーを考えたり、堅苦しくない話し合いの場を設ける。

『開かれた移住者ネットワークコミュニティ』（みどり市／移住定住）
移住者コミュニティを作って、移住者モデルケースを情報収集する。移住者ネットワークの設立や定期的に移住者や関心のある人が集まれるフランクな場をつくる。

『オール桐生みどりの移住コンシェルジュ』（みどり市／移住定住）
移住コンシェルジュ、移住コーディネートなどの設置。土日でも相談に乗ってくれる移住サポートセンターを募ったり、チャット、LINE、オンラインで現地案内や相談ができる仕組みを作る。

『森林・林業情報共有ネットワーク』（みどり市／森林）
県内、各地域で森林・林業関係者と他地域で他分野の人がコミュニケーションを取れる場をつくる。群馬県版「キノマチ」会議、オンラインなどによる全国の林業関係者の会議。

『桐生動産移動式「居場所」プロジェクトまずは親！』（桐生市／居場所）
ゆるトークマイスターが、協力施設や店舗で対話の場所を無償で提供する。毎回対話の場所が変わり、地域にたくさんの居場所ができる仕組み。

『自己肯定感高める親の居場所作り』（桐生市／居場所）
子育てしやすい環境、支援を行政+ママで定期的話し合える企画。ママの特技リスト「私こんなことができます」が見ることができたり、子どものためのお仕事体験場所、華金（華の金曜日）用の託児スペースを提供する。